

KEIZAI R E N

情報 2

2022. 2 NO.1289

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

ICTを活用した農業と 本会の取組状況について

main topics

ICTを活用した農業と本会の取組状況について…01

topics&news

秋冬青果物の取引拡大を

東京大田市場でトップセールス ……03

系統経済事業の発展を

令和3年度 系統経営者研究会 ……03

温州みかん出荷計画などを協議

第4回静岡県経済連柑橘委員会 ……03

静岡いちごの品質と栽培技術の向上をめざして

第32回静岡県いちご果実品評会 ……04

静岡いちごをPR

キャンペーン特設サイトとプロモーション動画を公開…04

「東京ゴールド」を審査

第30回静岡県キウイフルーツ果実品評会…05

牛乳の消費拡大を呼びかけ

県農業会館で牛乳消費をPR ……05

営農経済事業の強化を

令和3年度 第2回静岡県JA営農経済部長会…05

お知らせ

建設部からのお知らせ ……06

あぐりんく静岡からのお知らせ ……06

最新研究紹介

新しい水稲奨励品種「にじのきらめき」の特性と栽培法…07

お知らせ

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介…09

JAタウンしずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介…09

提携協NEWS ……10



▲メインピックス:ICTの活用



▲東京大田市場でトップセールス



ICTを活用した農業と 本会の取組状況について

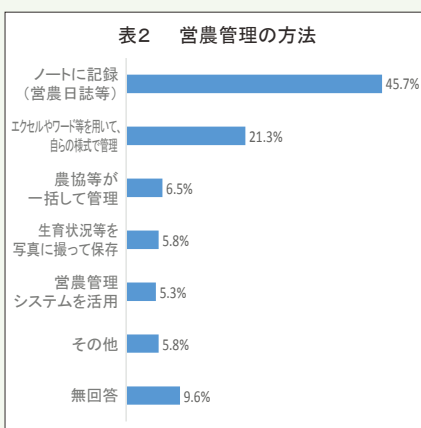
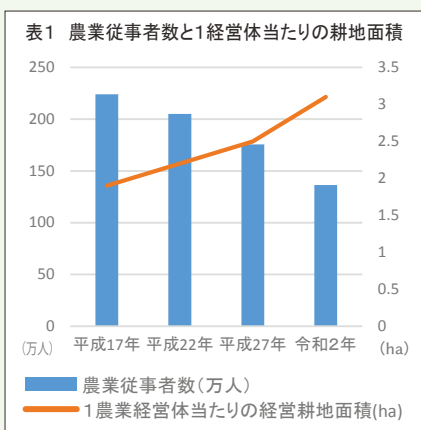
Ⅰ はじめに

農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化などによる労働力不足が深刻化する中、意欲ある農業者自らが経営戦略を実現し、競争力を向上するため、ICT（情報通信技術）やロボット技術などの先端技術の導入などスマート農業の実装による農業経営の改善に向けた取組が課題となっています。今回のメイントピックスでは、スマート農業の一つであるICT機器について本会の取組をご紹介します。

Ⅱ 国内の状況

1. 農業の課題

農業分野では、担い手の減少・高



齢化の進行などにより労働力不足が深刻な問題となっています。農林水産省が取りまとめた「農林業センサス」によると、農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者（ふだん仕事として主に自営農業に従事している者）は、令和2年は136万人で、平成17年の224万人から15年間で40%ほど減っています。一方で、1農業経営体当たりの経営耕地面積は拡大しており、省力化や負担の軽減が重要な課題となっています。（表1）

2. スマート農業について

スマート農業とは、ロボット技術やICTなど先端技術を活用する農業のことで、作業の自動化による省力化やデータの活用による病害虫や

生育予測などの効果が期待されています。また、これらの技術は食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」（農林水産省）にも貢献するものとしても期待されています。

3. 農業におけるICT活用の実態

令和3年6月に公表された農林水産省「ICTを活用した農業の取組に関する意識・意向調査結果」によると、農業者の約90%がスマートフォンなどのデジタル機器を所有し、その約70%が営農に活用しています。農業者の営農管理の方法では、営農日誌などによる記録や自らの様式を用いたPCでの管理が多い一方、営農管理システム（ほ場の情報管理や気象情報の確認ができるシステム）の活用はわずか5%にとどまっています（表2）。また、スマート農機（アータに基づき自動で制御・稼働する農機）を活用している農業者は12%という結果でした。

営農管理システムを今後活用する意向があると答えた農業者は約半数

いた一方、活用する意向が無いと答えた農業者の理由は、現在の管理方法で充分、どのように利用したらよいかわからない、使い方が難しそうという結果でした。

4. スマート農業の課題

スマート農業は、作業の省力化や負担の軽減、熟練者でなくても高度な営農が可能になるなどの効果が期待される一方、次のような課題が挙げられます。

① 導入初期コストが高い

一般的に、高・多機能な機器であるほどコストが高いため、規模が比較的小さな農家ほどスマート機器の活用が難しい。

② インフラ面整備が不十分

スマート農業に適したほ場形状やICTインフラの整備が必要。

③ スマート農機などの学習機会が不十分
例えば、ドローンを使った農薬散布などは、人または家屋の密集している地域の上空を飛行させる場合があることや物件の投下などに該当するため、航空法に基づき、事前に国土交通大臣へ許可・承認の申請を行うことが必要であったり、ICT機器そのものの操作が複雑であったりするため、操作方法について学習が必要。

Ⅲ 本会の取組状況

本会では、複数の部署においてICT機器の取り扱いをしています。ここでは、生産資材部 農業機械課とみかん園芸部 営農資材課の取組について報告します。

1. 農業機械課

① 農業機械課の取組

農業機械課では、メーカーとの協力によりJA職員や生産者に対して実演会を実施し、ICT等搭載高性能機械による労力低減・省力化を提案しています。本年度は県内4JAでのICT研修会や実演会を5回、ドローン講習会を1回開催しました。

② ICT農機の概要

ICT農機には、機能によってさまざまな種類があります。ロボットトラクタなどの無人では場内を自走



▲ICT農機例（「令和3年静岡県JAグループ農業機械紙面展示会」より一部抜粋・加工）



行する機械は、高度な位置情報を活用し無人での自動作業を行います。直線アシスト機能付きの機械（トラクタや田植機など）は、位置情報を基に直進作業時に自動で操舵し、うね立てや播種の直進精度や速度を熟練者と同等以上に作業することができま。高性能コンバインは、収量や食味を収穫時にセンサーで測定し、ほ場ごと営農管理システムで管理します。農業用ドローンは、農薬や肥料のタンクを搭載し作物上空から散布することで、作業時間の短縮や急傾斜地などでの作業の省力化ができます。②本県でのICT農機の活用について本県では、農地の集約と大型化が進んでいる水稲においてICT農機の活用が進んでいますが、野菜などでは一部の規模の大きい生産者で直線アシスト機能トラクタなどの活用に限られています。

2. 営農資材課

営農資材課では、生産性向上・農作業の効率化のため農業ICT関連資材の提案に取り組んでいます。ICTを活用した機器としてハウス内環境モニタリング機器「はかる蔵」とその関連資材として水田の自動給水機「Aquaport（アクアポート）」を推進しています。

①機器の概要

「はかる蔵」は、イチゴ生産農家が立ち上げたベンチャー企業「リバティポートジャパン(株)」が研究・開発した機器で、気温や湿度、地温やCO₂濃度などを測定し、パソコンやスマートフォンアプリで確認ができる従来の機器に比べ設置や操作が比較的容易で県内でも導入が増えてきています。リアルタイムでハウス内のデータを確認することができ、気温調整や光合成促進機を効率的に稼働させることができます。また、同社が開発した環境制御機器「うで蔵」と連携することにより、スマートフォンなどの機器を使い光合成促進機などを稼働させることができます。「アクアポート」は、水田の水口に設置し、センサーによる水位監視と水門の自動開閉を行います。機能が必要最小限に抑えて電池式を採用、工事不要で手軽に設置できる点が特徴です。これにより水管理の大幅な省力化が期待できます。

②機器の活用について

ここでは県内での活用が広がる「はかる蔵」について紹介します。本県では他産地においても活用されること多いイチゴのほか、トマ



▲はかる蔵の現地講習会



▲はかる蔵

ト、レタスやカーネーションで活用されています。

レタスでは、収穫予測での実用化に向け試験を行っています。本会では、県が年内収穫の露地レタスで実用化した技術を活用し気象データを使いレタス収穫日の予測情報を市場関係者に提供し有利販売につなげていますが、厳寒期に収穫するトンネル栽培について収穫予測精度が不安定となっています。そこで「はかる蔵」を使いトンネル内の気温などをリアルタイムに取得し、精度の高い

収穫予測に活用することが期待されます。

③営農資材課の取組

営農資材課では、ICT機器の推進のため、JA職員や生産者への現地講習会を開催しています。「はかる蔵」については、県や本会野菜花卉課と連携しイチゴ生産者大会での紹介や県内イチゴ技術員への説明会などを開催しました。「アクアポート」については、今後JAなどへの説明会を開催していく予定です。



▲アクアポート

IV おわりに

今回のメイントピックスでは、農業におけるICTの活用について国内の農業情勢を踏まえ、本会の取組を紹介いたしました。今回ご紹介したICT機器についての詳細は、本会担当部署（みかん園芸部営農資材課・生産資材部農業機械課）までお問い合わせください。

問い合わせ先

● 生産資材部 農業機械課
電話…054-622-3455
● みかん園芸部 営農資材課
電話…054-284-9726

秋冬青果物の取引拡大を

東京大田市場でトップセールス

12月21日、みかん園芸部は、東京大田市場でトップセールスを行い、市場関係者ら約50人が参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年に続き、競売台への登壇を実施せず、ビデオメッセージを上



▲ビデオメッセージで挨拶する松永会長

映しトップセールスを行いました。

ビデオメッセージでは、本会の松永大吾経営管理委員会会長が「本年は大きな天候の被害もなく好天に恵まれた。各品目順調な生育が続く、例年以上に高品質な商品をお届けできる。本県JAグループとして、コロナ禍における新生活様式に即した消費拡大対策を実践し、消費者の皆様に喜ばれる静岡県産農産物を出荷できるよう努力して参りますので、引き続きご愛顧くださいますよう、よろしくお願いいたします。」と挨拶しました。

会場では、市場の買参人などに青島みかん、いちごの「紅ほっぺ」や「きらび香」、セルリー、レタス、トマト、わさびなどを展示し、静岡県産青果物の品質の高さをアピールしました。



▲県産青果物の展示

系統経済事業の発展を

令和3年度 系統経営者研究会

12月3日、本会（事務局・企画管理課）とJA静岡中央会、静岡県信連、全共連静岡県本部は4連合会合同で、「令和3年度系統経営者研究会」を開き、県下JA組合長ら59人が出席しました。本県連合会合同による協議を通じ、県域の一体性と協調性を高めることが目的で、各連から令和4年度事業計画（案）などを報告しました。本会からは、松永大吾経営管理委員会会長がはじめに挨拶し、加藤敦啓代表理事理事長が令和4年度事業計画（案）について、寺田国彦代表理事専務が本会の令和3年度決算見込みと事業概況、「みどりの食料システム戦略」との関連性が想定される本会の取組について報告しました。



温州みかん出荷計画などを協議

第4回静岡県経済連 柑橘委員会

1月7日、柑橘果樹課は県農業会館で「第4回静岡県経済連柑橘委員会」を開きました。柑橘委員や県、市場関係者、JA、本会の担当者ら約50人が出席しました。

委員会では、東京事務所より果実の販売情勢について、東部・中部・西部の各委員から生育状況について報告しました。続いて、温州みかんの年明け出荷計画と販売対策、令和4年柑橘重点実行方針（案）などについて協議し、令和4年産柑橘重点実行方針では、最重点項目として、「連年安定生産に向けた着果管理と高品質果実生産の実現」をテーマに、老木樹の改植と密植園の間伐推進、早期樹勢回復と土づくりなどを盛り込みました。市場からは、消費地情勢や各社の取組について報告し、産地への提案がありました。



静岡いちごの品質と栽培技術の向上をめざして

第32回静岡県いちご果実品評会

12月16日、静岡県野菜振興協会（事務局：野菜花卉課）は、県農業会館で「第32回静岡県いちご果実品評会」を開催しました。県産いちごの生産技術の改善と品質向上が目的。品評会では、「紅ほっぺ」107点、「きらび香」30点、計137点の出品があり、最高位の金賞1席・農林水産大臣賞にはJAしみずの齋藤祐貴さん（紅ほっぺ）が受賞しました。

品評会は、県、市場、消費者代表ら15人の審査員が形状・色沢・玉揃いなどの外観と食味・肉質などの内容を審査。平均糖度は、紅ほっぺ12・8度、きらび香14・1度といずれも例年より高い結果となりました。審査長の県農林技術研究所の塚本忠士所長は「入賞したイチゴはいずれも着色、光沢、玉揃いが良く、傷みがなく、糖度・酸度のバランスのとれた素晴らしい食味だった」と講評



▲金賞1席齋藤祐貴さん（JAしみず）の紅ほっぺ

しました。
金賞受賞者は次の通り。

賞	JA名	氏名	品種	特別賞
金賞	1席	JAしみず 齋藤 祐貴	紅ほっぺ	農林水産大臣賞 静岡県農業協同組合中央会会長賞 静岡県京浜地区果実流通協議会会長賞
	2席	JA伊豆の国 遠藤 誠	きらび香	関東農政局長賞 静岡県経済農業協同組合連合会理事賞
	3席	JA静岡市 大橋 孝康	紅ほっぺ	静岡県知事賞 静岡県信用農業協同組合連合会理事賞
	4席	JA遠州夢咲 栗本めぐみ	紅ほっぺ	静岡県農林水産業振興会会長賞 静岡県厚生農業協同組連合会理事賞
	5席	JA伊豆の国 永倉 玄太	紅ほっぺ	静岡県経済産業部長賞 全国共済農業協同組合連合会静岡県本部部長賞



静岡いちごをPR

キャンペーン特設サイトとプロモーション動画を公開

静岡県いちご協議会（事務局：野菜花卉課）は、1月15日から、県産ブランドイチゴ「紅ほっぺ」と「きらび香」をPRする特設ホームページを公開しました。イメージキャラクターには、本県出身でタレントの池田美優（みちよば）さんを2年連続で起用しています。

ホームページでは、みちよばさんが出演するプロモーション動画を公開するほか、抽選で100人に静岡いちごをプレゼントするキャンペーンを実施しています。

プロモーション活動として、県内や首都圏のスーパーマーケットなどの店頭にはポスターやミニのぼりを設置するほか、JR東海の県内地区の



▲ポスターとミニのぼりを紹介する静岡いちご娘



▲特設サイトはこちら



▲みちよばさんの動画はこちら

中づり広告などを展開します。プレゼントキャンペーンは2月末まで実施中です。また、静岡いちごのプロモーション動画は、撮影のメイキングとともに動画投稿サイト「YouTube」の本会公式チャンネルで5月末まで期間限定にて公開しています。キャンペーンなどの詳細は特設サイト（<https://sapit.jp/2112-ja-shizuoka>）をご覧ください。

「東京ゴールド」を審査 第30回静岡県キウイフルーツ果実品評会

11月25日、静岡県果樹振興協会（事務局・柑橘果樹課）は、県農業会館で「第30回静岡県キウイフルーツ果実品評会」を開催しました。

県産キウイフルーツの品質改善と生産技術の向上を図ることが目的。今回から初めて対象品種を「東京ゴールド」とし、計11点の出品がありました。品評会は、県や市場担当者、消費者代表ら9人の審査員が形状や玉揃い、色沢などの外観と、糖度や食味内容を審査。金賞にJA静岡市の海野博敏さんが輝きました。

審査長を務めた静岡県果樹研究センターの瀧義明センター長は「果実の品質は全般的に良好で、とくに入賞したものは優れたものが多かった」と講評しました。



▲「東京ゴールド」
しずく型の果実で、黄色の果肉が特徴

金賞・静岡県知事賞
・海野 博敏（JA静岡市）
銀賞1席・静岡県経済産業部長賞
・杉山 進（JAしみず）
銀賞2席・静岡県農林技術研究所果樹研究センター長賞
・福本健太郎（JAあいら伊豆）
銅賞
・谷津倉 寛（JA富士市）
・村田 嘉巳（JA静岡市）

牛乳の消費拡大を呼びかけ 県農業会館で牛乳消費をPR

1月12日、畜産課は県農業会館で同会館の連合会職員に牛乳とチラシを配り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで消費が減る牛乳や乳製品の消費拡大を呼びかけました。午前11時半から30分ほどで用意した牛乳200本（1本200ミリリットル）を配りました。

今シーズンは夏や秋の気温が低く牛乳の生産は増えた一方で、飲食店などの業務需要や自宅で消費する果ごもり需要も低調で牛乳などの消費が落ち込んでおり、原料である牛乳が処理できない可能性があります。



営農経済事業の強化を 令和3年度 第2回静岡県 JA営農経済部長会

12月2日、本会（事務局・JA支援課）は、県農業会館で「令和3年度第2回静岡県JA営農経済部長会」を開き、JA営農経済担当部長ら45人が出席しました。各種の情報交換等を通じて、経済事業の円滑な運営と、系統事業の発展を期することが目的。

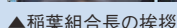
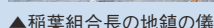
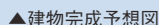
会議では、加藤敦啓代表理事理事長より令和4年度事業計画（案）について、寺田国彦代表理事専務より事業概況について説明しました。また、茶業部より「みどりの食料システム戦略」関連として有機栽培茶の生産拡大に向けた取組について、みかん園芸部より燃料価格高騰対策資材の普及・拡大について報告しました。



らせ
information

担当 建設部 054-284-9523

資材センター建設工事 起工式



設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行なっています。

文字が大きく見やすくなってリニューアルしました!

＼あぐりんく静岡からのお知らせ／

県内JA限定 生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

更新

経済連コンサルタントによる技術情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

新しい水稻奨励品種
「にじのきらめき」の特性と栽培法

一 はじめに

県内では、主食用米としての水稻が約一万五千ヘクタールで作付けされており、その内、九割以上の面積で県採用の奨励品種（県内に普及すべき優良な品種として県が決定した品種）が栽培されています。本研究所では、県独自に育成した系統のほか、国や他県の研究機関が育成した品種・系統から、本県での栽培に適するものを選定する、奨励品種決定試験を行っています。現在の奨励品種に、気候や耐病害虫性の変化などの影響で問題が生じ、新品種への変更が望まれ、各種特性に優れた品種が新たに選定された場合に、奨励品種の改廃を行っています。

今回は、「キヌヒカリ」に替わり新たに奨励品種に採用された水稻うるち品種の「にじのきらめき」について紹介します。

二 「キヌヒカリ」の栽培上の課題

「キヌヒカリ」は、早生の水稻うるち品種であり、水稻裏作で栽培される野菜後作の残存肥料が多い条件下においても倒れにくく、食味が低下しにくいため、冬の露地野菜栽培後の作付けなどで利用されてきました。

しかしながら、高温による白未熟粒（高温などにより、玄米へのデンプンの蓄積が不十分となり、玄米の一部が白濁した状態の粒）の多発により、米の外観品質が低下しやすい点や、穂発芽（収穫前の水田にある時点で籽が発芽してしまう現象。発芽すると商品にならない）しやすい点が問題となっており、近年の作付け面積は減少していました。

そこで、「キヌヒカリ」と同様に多肥条件での栽培に適した早生品種で、高温でも米の外観品質が低下しにくく、穂発芽しにくい品種の選定が求められていました（図1）。

三 新たな奨励品種

「にじのきらめき」の特性

新たに奨励品種に採用した「にじのきらめき」は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が、多収で高温登熟耐性が優れる「西南一三六号」（のちの「なつほのか」）を母に、縞葉枯病抵抗性を有する「北陸二三三号」を父として交配した後代から育成し、平成三十年に品種登録された水稻うるち早生品種です。「にじのきらめき」の主な特性は、表1のとおりであり、「キヌヒカリ」と

「キヌヒカリ」の弱み

- ① 高温に弱く外観品質が不良
- ② 穂発芽し易い

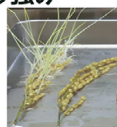
収穫前に発芽



↓ 改良

「にじのきらめき」の強み

- ① 高温に強い
- ② 穂発芽しにくい
- ③ 短稈で倒伏しにくい
- ④ 多収



穂発芽試験

図1 「キヌヒカリ」の弱みと「にじのきらめき」の強み

私が紹介します！



静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
研究員

加藤 泰久

と比較して、稈が短いことから倒伏しにくいほか（図2）、高温による白未熟粒が発生しにくく玄米の外観品質に優れ（図3）、穂発芽しにくい特性を持ちます。

また、「キヌヒカリ」と比較して収量が平均十二パーセント程度多く、玄米は大粒で多肥でも食味に優れることから、業務用途での活用が期待されます。加えて、水稻の重要病害である縞葉枯病に抵抗性を有しています。

	成熟期	稈長	倒伏	収量
キヌヒカリ	8/26	77cm	微	54.2 (kg/a)
にじのきらめき	8/26	66cm	無	60.9 (kg/a)

	品質	高温耐性	穂発芽性	食味
キヌヒカリ	やや不良	やや弱	やや易	良
にじのきらめき	やや良	やや強	やや難	極良

※所内試験における、早期標肥栽培での4年間（平成29年～令和2年）の累年平均値。

※移植日は4月20日前後。

表1 「にじのきらめき」の主な特性

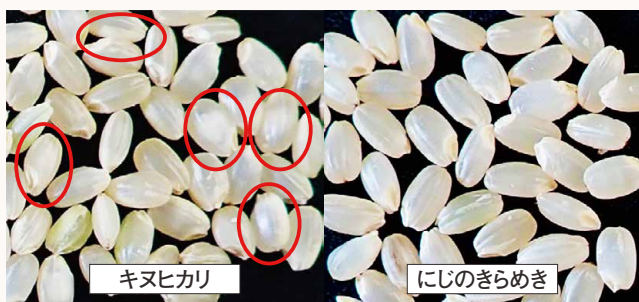


図3 「キヌヒカリ」と「にじのきらめき」の玄米の外観

「にじのきらめき」は「キヌヒカリ」に比べ、白未熟粒（○：でんぷんの蓄積が不十分な粒）の発生が少ない。

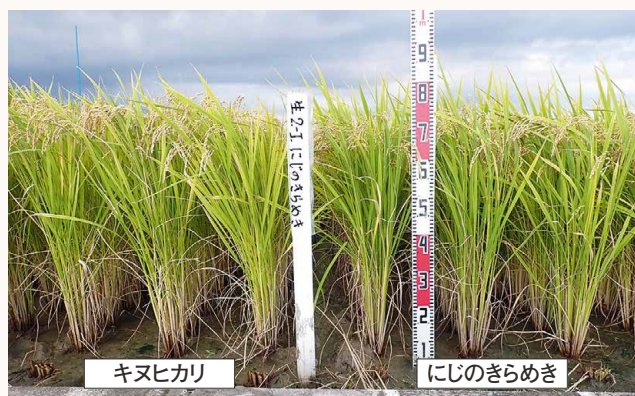


図2 「キヌヒカリ」と「にじのきらめき」の成熟期における草姿

四 「にじのきらめき」の栽培法

(一) 施肥量

ここでは、全量基肥（全層施肥）を用いた多収栽培を前提とした施肥量の検討結果を紹介します。

十アール当たりの窒素施用量を、十・八キログラムから一・八キログラムずつ増やして収量を調べたところ、単位面積当たりの粒数は増加するものの、収量は増加しませんでした（図4）。

このことから、十アール当たりの窒素施用量は、十・八キログラム程度が望ましいと考えられます。

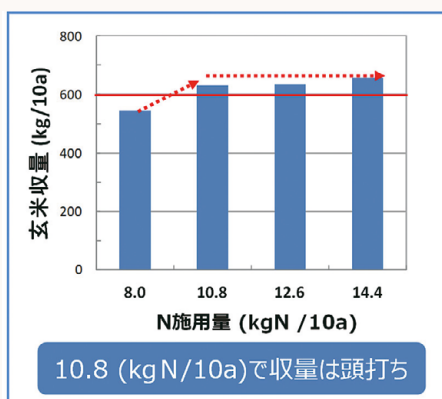


図4 窒素施用量と玄米収量

(二) 栽植密度

ここでは、水稻の低コスト・省力栽培技術である、疎植栽培への適応性の検討結果を紹介します。

(三) 栽培上の留意点

「にじのきらめき」は、穂発芽性は「難」で、種子の休眠が深い傾向がありますので、浸種時の積算水温（水温×日数）の目安は、百二十度程度としてください。（例：水温十五度前後の場合、「にじのきらめき」は「コシヒカリ」より一〜二日程度、浸種時間を長くします。）

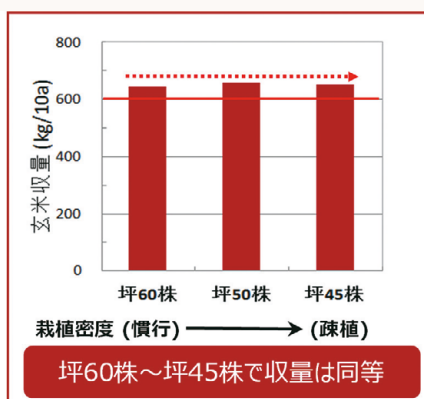


図5 栽植密度と玄米収量

栽植密度を慣行の坪当たり六十株から四十五株まで低下させた場合、出穂期及び成熟期は慣行よりも数日遅くなりますが、収量は同等でした（図5）。また、玄米の外観品質、食味に大きな影響はありませんでした。

したがって、疎植栽培では坪四十五株までであれば実用上問題がないと考えられます。

五 おわりに

また、葉いもちの抵抗性は「キヌヒカリ」より強いものの、「中」であるため、必要に応じて防除を行ってください。

なお、白葉枯病抵抗性は「やや弱」で白葉枯病に弱いいため、本病の常発地では箱施用剤の使用や本田防除を徹底してください。

「にじのきらめき」は、令和四年産から農産物検査法に基づく産地品種銘柄（選択銘柄）の設定が行われる見込みであり、県内で広く栽培されることが期待されます。

また、今回紹介した栽培法等を踏まえ、JA静岡経済連及び静岡県米麦協会と協同し、栽培暦を作成したので、御覧になりたい方は各JAまでお問い合わせください。

連絡先

磐田市三ヶ野七七一
静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
E-mail: agrisuden@pref.shizuoka.lg.jp
TEL: 0538-33-6678

「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介

担当:食糧部 食糧課(TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局:食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和3年度の第9回目(1月15日)の放送では、お笑い芸人のフォーリンラブ・バービーさんがJA伊豆の国「伊豆の恵(めぐみ)」を紹介しました。「伊豆の恵」は、天城山系の清らかでミネラル豊富な水で育てたコシヒカリの特別栽培米。番組ではJA伊豆の国の生産者や職員らからメッセージを紹介し県産米のPRを行いました。

次回の「しずおかごはんが食べたい!」は、焼津市と静岡市からオードリー・春日さんが酒米「誉富士」を紹介します。放送予定は2月19日(土)の夕方5時となっておりますので、ぜひご覧ください!



▲JA伊豆の国「伊豆の恵」を紹介



減農薬・減化学肥料にこだわった特別栽培米
米本来の甘味とモチモチとした食感が特徴



▲生産者からのメッセージを紹介

JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します!



静岡県産季節の花束

【販売価格】

5,680円(送料・税込)

【商品紹介】

生産者が愛情込めてつくった静岡県産花きを花束にしてお届けします。記念日や日頃の感謝の気持ちを込めてお花のプレゼントはいかがでしょうか。

静岡県産「バラ」「ガーベラ」「トルコギキョウ」などを使用した花束です(そえ葉・そえ花には他産地のものも含まれます)。

ご希望によりメッセージカードをご用意いたします。

【静岡県の花き】

静岡県は花き産出額全国第4位で、多彩で高品質な花きを生産する「花の都」です。生産する主な花きはガーベラやバラ、キク、カーネーションなどで、ガーベラは全国産出額第1位、バラは第2位です。

出典:「生産農業所得統計」(農林水産省)



しずおか手しお屋

検索

◀商品ページはこちら

※販売時期や価格は変更する場合があります

担当:営業部 流通開発課

(TEL:054-284-9728)

提携協NEWS

令和3年度 Vol.2

静岡県協同組合間提携推進協議会（略称：提携協）は、1990年（平成2年）7月7日に発足し、県域の6団体で組織しています。この提携協NEWSでは本協議会の活動内容について報告します。

安倍川流木クリーンまつりに参加

11月21日、静岡市の安倍川親水公園広場で開催された「第19回安倍川流木クリーンまつり」に参加し、安倍川の景観を維持し漁業被害を抑えるために流木やごみを回収しました。提携協では約130人が参加しました。



協同組合学習交流会を開催

11月17日、協同組合のあり方と役割を再認識し、他の協同組合の組織や事業、活動について意見を交わすことを目的とした「協同組合学習交流会」を県農業会館で開き、各団体役職員32人が参加しました。はじめに提携協の紹介としてどのような活動をしているのかを写真を交えて紹介しました。次に、J A静岡厚生連の山口友里管理栄養士が「免疫力を高める食生活」をテーマに講演しました。その後、参加者はグループに分かれ「講演を踏まえた今後の食生活について」をテーマに意見交換を行いました。各グループからは「朝食を食べていなかったが見直したい」「日本人にあった和食中心にしたい」「産地・国産などを考えるようになった」など、講演会のテーマが身近で興味のあるテーマであったため、各グループともに関連な意見交換の場になりました。



女性交流集会をオンラインで開催

12月14日、提携協の構成団体についての理解を深めるとともに、地域や組合員段階での交流促進を目的と「令和3年度女性交流集会」をオンラインで開き、各団体の女性部や職員約30人が参加しました。はじめに提携協について紹介し、次に（一社）日本協同組合連携機構の田中和郎氏と片岡昇氏が講師に招き「SDGsと協同組合について」をテーマに講演しました。その後、参加者はグループに分かれ「SDGs達成に向けて、私たちにできることを考えてみよう」をテーマに意見交換を行いました。



大粒果実に甘みとコクが織りなす絶妙なバランス
紅色がとても鮮やかな静岡いちごの代表格

紅^{べに}ほっぺ みちよば



静岡いちご
紅ほっぺ
静岡県いちご協議会

紅ほっぺときらび香
甲乙つけ難いからどっちも貰えるキャンペーン

ホームページ内の動画に隠されたヒントを探して静岡いちごプレゼントキャンペーンに応募しよう！



宝石のような輝きと甘さ際立つフルーティーな香り
口当たりなめらかな静岡いちごの至高の一粒

きらび^か香 みちよば



紅ほっぺときらび香
甲乙つけ難いからどっちも貰えるキャンペーン

ホームページ内の動画に隠されたヒントを探して静岡いちごプレゼントキャンペーンに応募しよう！



静岡いちご
きらび香
静岡県いちご協議会

担当：みかん園芸部 野菜花卉課 (TEL:054-284-9714)

